

北海道の人口減少などに関する意識調査

—ご協力をお願い—

日頃から道政の推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
北海道では、人口減少などに関する道民の皆様の意識等を的確に把握し、道政への企画・立案や施策形成に反映させることを目的として、本調査を実施することにしました。
調査対象者の選定にあたりましては、道内にお住まいの18歳以上の方1,500名を無作為に選ばせていただきました。

お忙しいところ大変恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年(2022年)8月

北海道知事 鈴木 直道

- **必ずご本人(封筒の宛名の方)がお答えください。**ただし、ご本人の記入が困難な場合は、ご本人の意見などを代理の方がご記入されてもかまいません。
- この調査票に記入された内容については、調査の目的以外に使用することはありません。
- この調査の**回答は無記名**でお願いしています。集計後の調査票は、責任をもって廃棄処分しますので、**個人の秘密は守られ、ご迷惑がかかることはありません。**
- 回答は、質問ごとに用意した答えの中から、あなたのお考えに近いものの**記号に○印を付けてください。**
- 質問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、その場合は、説明に沿ってお答えください。
- 回答は、この調査票の郵送によるほか、**スマートフォンからでも回答いただけます。**スマートフォンによる回答をご希望される方は、次のQRコードを読み込んでアクセスしてご回答ください。
※スマートフォンで回答された方は郵送による回答は不要です。
- 調査の実施結果は、集計後、北海道庁のホームページにてお知らせします。

QRコード



この調査票に、全ての回答を記載し

同封の返信用封筒(切手不要)に入れ

8月31日(水)までに郵便ポストに投函願います。

※ インターネットによる回答の方も**8月31日(水)まで**にご回答願います。

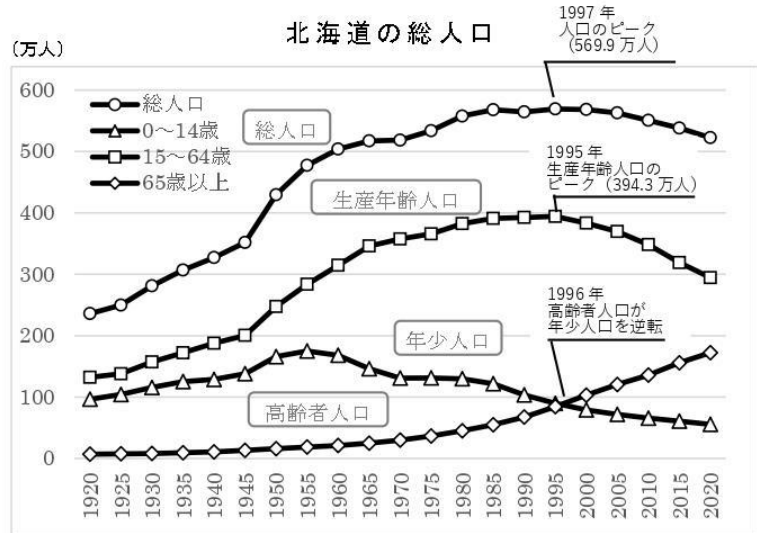
※ 返信用封筒のあて先は、北海道が調査を委託した**株式会社ピーアールセンター**となっています。

《 問い合わせ先 》 北海道総合政策部地域創生局地域戦略課地域創生係
住所 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
電話 011-204-5131

I 北海道の人口減少について (6問)

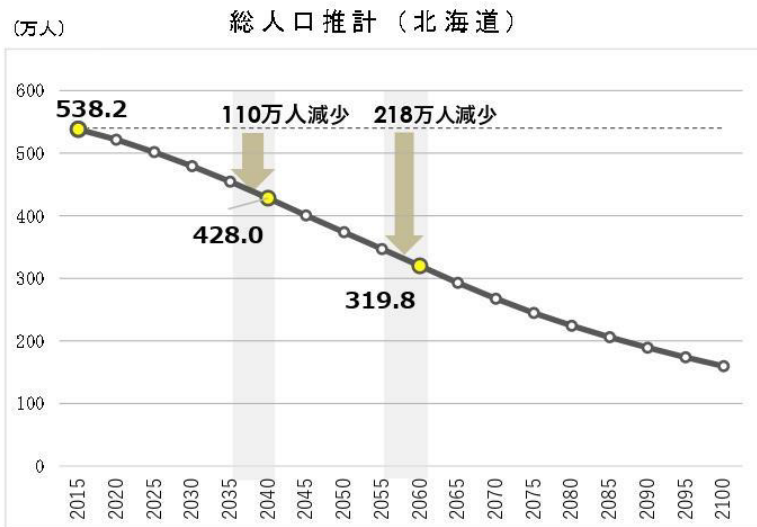
はじめに、北海道における人口減少問題についてお伺いします。

本道の人口は、1997年の約570万人をピークに、全国より約10年早く人口が減少しており、1990年代後半には、中核の労働力となる生産年齢人口（15歳以上65歳未満）が減少に転じ、高齢者人口（65歳以上）が年少人口（15歳未満）を上回っています。



(出典：北海道人口ビジョン（改訂版）のオープンデータ)

また、国（国立社会保障・人口問題研究所）に準拠した推計によると、今後、何も人口減少への対策を講じない場合、538万人（2015年）から428万人（2040年）までに減少するとの報告があります。



(出典：北海道人口ビジョン（改訂版）)

問1. あなたは、上記のように北海道の人口が減少することに危機感を感じていますか。

次の中から1つお選びください。

- ア. 非常に危機感を感じている
- イ. 危機感を感じている
- ウ. あまり危機感を感じていない
- エ. 全く危機感を感じていない
- オ. わからない

問2. あなたは、現在住んでいる市町村の人口が減少することに危機感を感じていますか。

次の中から1つお選びください。

ア. 非常に危機感を感じている	}	問3へ
イ. 危機感を感じている		
ウ. あまり危機感を感じていない	}	問4へ
エ. 全く危機感を感じていない		
オ. わからない		

問3. あなたは、どのようなことで人口減少による影響を感じていますか。

次の中から当てはまるものを全てお選びください。(○は複数可)

ア. 公共料金が高くなった
イ. 教育文化施設、スポーツ施設等の公共施設がなくなった
ウ. 医療保険や年金など社会保障の維持が困難になった
エ. 食料品や日用品などの買い物が不便になった
オ. 趣味や娯楽などの施設がなくなった
カ. 公共交通機関の減便・廃止等により交通の便が悪くなった
キ. 保育園や幼稚園、小児医療機関などの減少により子育て環境が悪くなった
ク. 医療、福祉サービスが行き届かなくなった
ケ. 学校の廃校や小規模校化等により教育環境が悪くなった
コ. 企業等の撤退により仕事なくなった、収入が減った
サ. 担い手や後継者の不足により地域産業の維持が困難になった
シ. 若者が減少し地域に活気がなくなった
ス. その他(具体的に: _____)

問4. 今後、人口の減少が進んだ場合、あなたは、特にどのようなことに不安を感じますか。
次の中から5つまでお選びください。(○は5つまで)

- ア. 公共料金が高くなる
- イ. 教育文化施設、スポーツ施設等の公共施設がなくなる
- ウ. 医療保険や年金など社会保障の維持が困難になる
- エ. 食料品や日用品などの買い物が不便になる
- オ. 趣味や娯楽などの施設がなくなる
- カ. 公共交通機関の減便・廃止等により交通の便が悪くなる
- キ. 保育園や幼稚園、小児医療機関などの減少により子育て環境が悪くなる
- ク. 医療、福祉サービスが行き届かなくなる
- ケ. 学校の廃校や小規模校化等により教育環境が悪くなる
- コ. 企業等の撤退により仕事なくなる、収入が減る
- サ. 担い手や後継者の不足により地域産業の維持が困難になる
- シ. 若者が減少し地域に活気がなくなる
- ス. 特に影響はない
- セ. その他(具体的に:)

問5. あなたは、人口が減少しても心豊かに暮らし続けられる北海道を実現するため、今後、特にどのような取組が重要だと思いますか。次の中から5つまでお選びください。(○は5つまで)

- ア. 子育て環境の整備や子育て世帯への支援
- イ. 必要な教育を受けられる環境の整備
- ウ. 食料品や日用品などの買い物ができる環境の整備
- エ. 公共交通機関の維持確保
- オ. 地域の医師確保など必要な医療や福祉が受けられる環境の整備
- カ. 農林水産業の経営力向上や担い手の確保
- キ. 観光地づくりや国内外に向けた観光客の誘客活動
- ク. 道産食品のブランド化や輸出の拡大
- ケ. ものづくりなど道内企業等の技術力向上
- コ. 地域で働く人材の確保や育成、安定した雇用の確保
- サ. 外国人労働者が安心して働き、暮らすことのできる環境整備
- シ. 北海道への移住や定住、U・Iターン就職の促進
- ス. 移住や定住せずとも地域と多様に関わり、地域の力になる人の創出
- セ. ICTなど未来技術の様々な分野への導入
- ソ. その他(具体的に:)

問6. 現在、北海道の約3分の1以上の人口が札幌市に集中しており、その割合は年々増加しています。

あなたは、札幌市に人口が集中する理由は特にどのようなことだと思いますか。

次の中から3つまでお選びください。(○は3つまで)

- ア. 仕事の選択肢が多い
- イ. 買い物が便利である
- ウ. 公共交通機関が整っている
- エ. 子育て・教育環境が充実している
- オ. 医療や介護等福祉が充実している
- カ. 娯楽環境が充実している
- キ. 家族の札幌市への転出
- ク. その他(具体的に: _____)

II 道内地域とのつながりや愛着について (3問)

※問7～問9は、札幌市にお住まいの方のみお答えください。

問7. あなたの札幌市以外の道内の特定の地域とのつながりや愛着について、当てはまるものを次の中から全てお選びください。(○は複数可)

- ア. 過去に住んでいたことがある
- イ. お盆や正月などに帰省している
- ウ. 観光や旅行で頻繁に訪問している
- エ. 友人や知人がいて頻繁に訪問している
- オ. 当該市町村でボランティア等に参加したことがある
- カ. 当該市町村にふるさと納税をしたことがある
- キ. ホームページなどで当該市町村について調べたことがある
- ク. 札幌市内で開催される当該市町村をPRするイベント(物産展など)に行ったことがある
- ケ. その他(具体的に:)
- コ. 特になし

問8. あなたは、今後、札幌市以外の特定の地域とつながりを持ちたいと思いますか。
次の中から1つお選びください。

- ア. 既につながりがあり、これからも継続したいと思う
 - イ. 現在は特にないが、今後、つながりを持ちたいと思う
 - ウ. 思わない
 - エ. わからない
- } 問9へ
- } 問10へ

問9. あなたは、地域とのつながりを深めるためには、特にどのようなことが必要だと思えますか。
次の中から当てはまるものを3つまでお選びください。(○は3つまで)

- ア. 仕事やプライベートでの時間的な余裕の確保
- イ. 移動や滞在に伴う金銭的負担の軽減
- ウ. テレワークや副業を認めるなど勤務先の理解
- エ. 地域での活動に伴う収入の確保
- オ. 自分の能力・知識・経験などを活かせる機会の存在
- カ. 地域の情報の入手、地域の人とのコミュニケーション
- キ. 家族や同行者の理解、価値観の合う仲間の存在
- ク. 札幌市内で開催される道内地域をPRするイベント(物産展など)の開催
- ケ. 道内地域とつながる「きっかけ」となるイベントの開催
- コ. その他(具体的に:)

Ⅲ 居住地について（7問）

問 10. あなたは、現在住んでいる市町村にこれからも住み続けたいと思いますか。

次の中から1つお選びください。

- ア. できれば今と同じ市町村に住み続けたい
- イ. できれば道内の他の市町村へ移りたい
- ウ. できれば北海道以外へ移りたい
- エ. よくわからない

問 11. あなたは、次のうち何が充実していれば、今と同じ市町村に住み続けることができると思いませんか。次の中から3つまでお選びください。（○は3つまで）

- ア. 安心できる医療・福祉
- イ. 子育て環境の整備や子育て世帯への支援
- ウ. 学校など充実した教育環境
- エ. 食料品や日用品などの買い物の利便性
- オ. 鉄道やバスなど公共交通機関の利便性
- カ. 趣味や娯楽などの施設
- キ. 安定した生活ができる雇用の場
- ク. 地域の基幹産業の経営の安定
- ケ. 事件や事故が少ないなど、くらしの安全
- コ. 友人・知人がいることや地域のコミュニティなど人とのつながり
- サ. 5Gの普及などICT環境
- シ. その他（具体的に： _____）

問 12. あなたは、今までに市町村をまたぐ転出（引っ越し）をしたことはありますか。

- ア. ある ⇒ 問 13 へ
- イ. ない ⇒ 問 16 へ

※問 13～問 15 は、問 12 で「ア. ある」と回答した方のみお答えください。

問 13. あなたは、これまでに道内市町村から東京圏へ転出したことはありますか。

（※東京圏とは、東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県 の 1 都 3 県 の こと を 指 し ます。以下同じ。）

- ア. ある ⇒ 問 14 へ
- イ. ない ⇒ 問 15 へ

問 14. これまでに東京圏へ転出したことのある方のみお答えください。

あなたが東京圏に転出した時の主な理由を次の中から1つお選びください。

ア. 進学	イ. 就職・転職	ウ. 転勤
エ. 退職	オ. 両親など家族の転出に合わせて	カ. 結婚・離婚
キ. 妊娠・出産・子育て	ク. 病気などの健康上の理由	ケ. 親の介護等
コ. その他（具体的に：		）

問 15. あなたは、できれば、かつて住んでいた市町村に戻りたい（引っ越したい）と思うことはありますか。

「ア. 思うことがある」という方については、その理由もあわせて次の中から1つお選びください。

ア. 思うことがある
【理由】
a. 住み慣れた場所の方が居心地よかった
b. 親や親戚が高齢になった
c. 地元友人や知人が多い
d. 経済的な理由
e. 災害などのリスク回避
f. 感染症などのリスク回避
g. その他（具体的に：
イ. 思わない

※問 12 で「イ. ない」と回答した方のみお答えください。

問 16. あなたが、同じ市町村に住み続けている理由は何ですか。

次の中から当てはまるものを全てお選びください。（○は複数可）

ア. 当該市町村に愛着を持っている
イ. 現在の生活環境で特に困っていることがない
ウ. 当該市町村で進学した
エ. 当該市町村で就職した
オ. 当該市町村で結婚した
カ. 家業を継いだ
キ. 友人や知人が多い
ク. 人口の多い（人が密集する）場所に行きたくない
ケ. 特に理由はない
コ. その他（具体的に：
）